



平成25年度第1回
箕面市国民健康保険運営協議会

平成25年8月27日
箕面市市民部国保年金課
収納整理担当

内容

I. 平成24年度 国民健康保険事業の状況

1.平成24年度決算

参考資料① 保険料収入の推移

② 医療費（保険給付費）の推移

③ 単年度収支の推移

II. 平成25年度 国民健康保険料の状況

1.平成25年度の保険料（決定方法）

参考資料 平成25年度の保険料算出の基礎となる給付費の決定方法

2.保険料率

3.モデル世帯の保険料の比較

4.賦課限度額について

III. 累積赤字解消に向けて

1.広域化の動向

2.累積赤字解消に向けて

3.累積赤字と保険料の適正化

4.平成24年度の黒字6.1億について

IV. 収納対策

1.収納状況の推移（現年度分）

2.収納状況の推移（過年度分）

3.収納率の他市との比較（現年度分）

4.収納率の他市との比較（過年度分）

5.滞納処分の状況

6.執行停止の内訳

V. 医療費分析

1.新たな分析ツールの活用（「KDBシステム」の導入）

2.「KDBシステム」導入のスケジュール

3.ジェネリック医薬品の推移

VI その他

1.口座振替キャンペーンの実施について

2.保険証のカード化の実施



I. 平成24年度 国民健康保険事業の状況

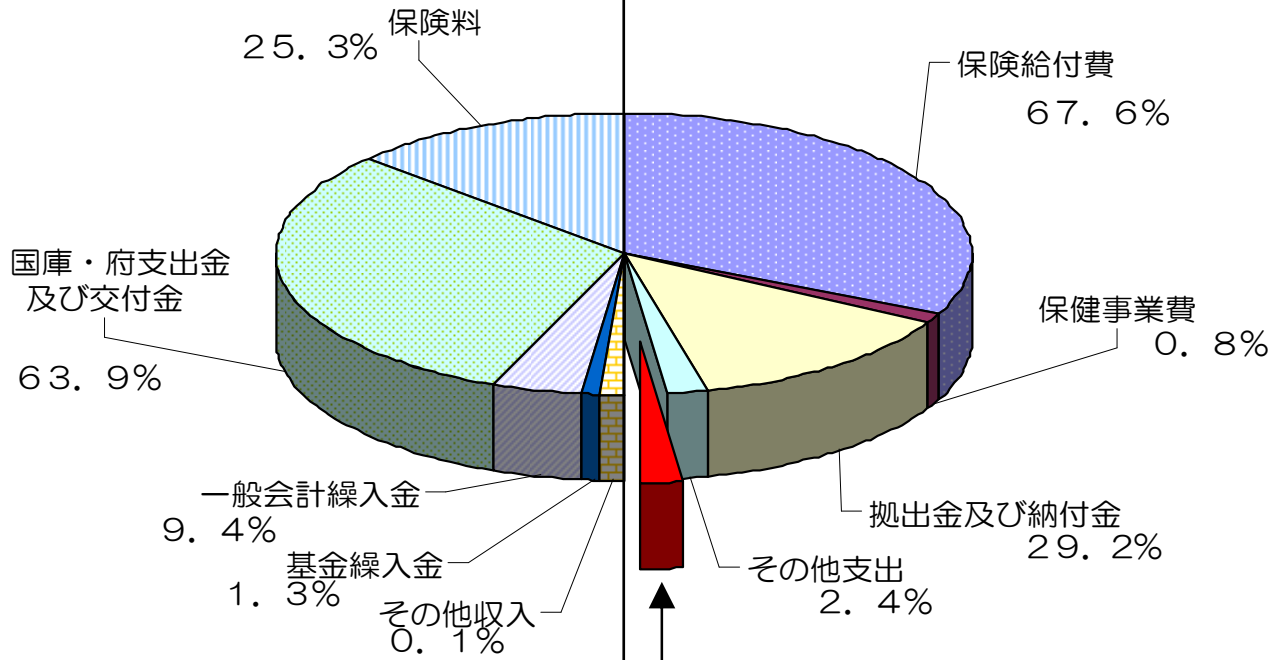
1.平成24年度決算

・平成24年度の決算は、医療費（保険給付費）が大幅に減少した結果、約6億6百万円の黒字となりました。
（これは、一般会計から4億円繰り入れた後の黒字です。）

平成24年度収支

歳入：14,132百万円

歳出：13,526百万円



【歳入】

	金額 (百万円)
保険料	3,574
国庫・府支出金及び交付金	9,032
一般会計繰入金	1,321
基金繰入金	183
その他収入	22
計	14,132

【歳出】

	金額 (百万円)
保険給付費	9,144
保健事業費	112
拠出金及び納付金	3,932
基金積立金	1
その他の支出	337
計	13,526

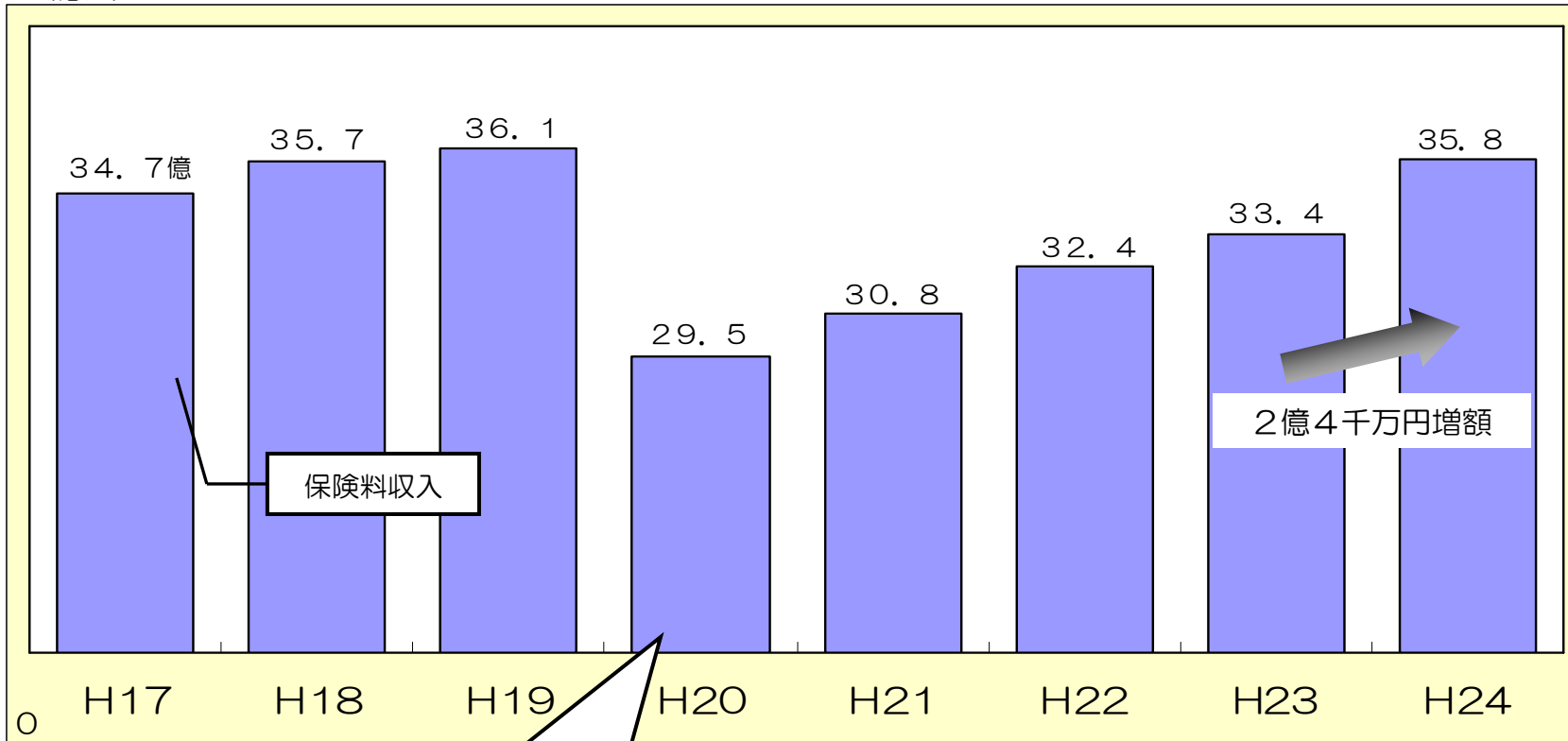
単年度収支（歳入）14,132百万円－（歳出）13,526百万円＝6億6百万円黒字 一般会計から4億円繰り入れ後

参考資料① 保険料収入の推移

- ・平成24年度は平成23年度に比べ、現年度収納額約2億2千万円と過年度収納額約2千万円、合計額約2億4千万円の増となりました。

保険料収入の推移

(億円)

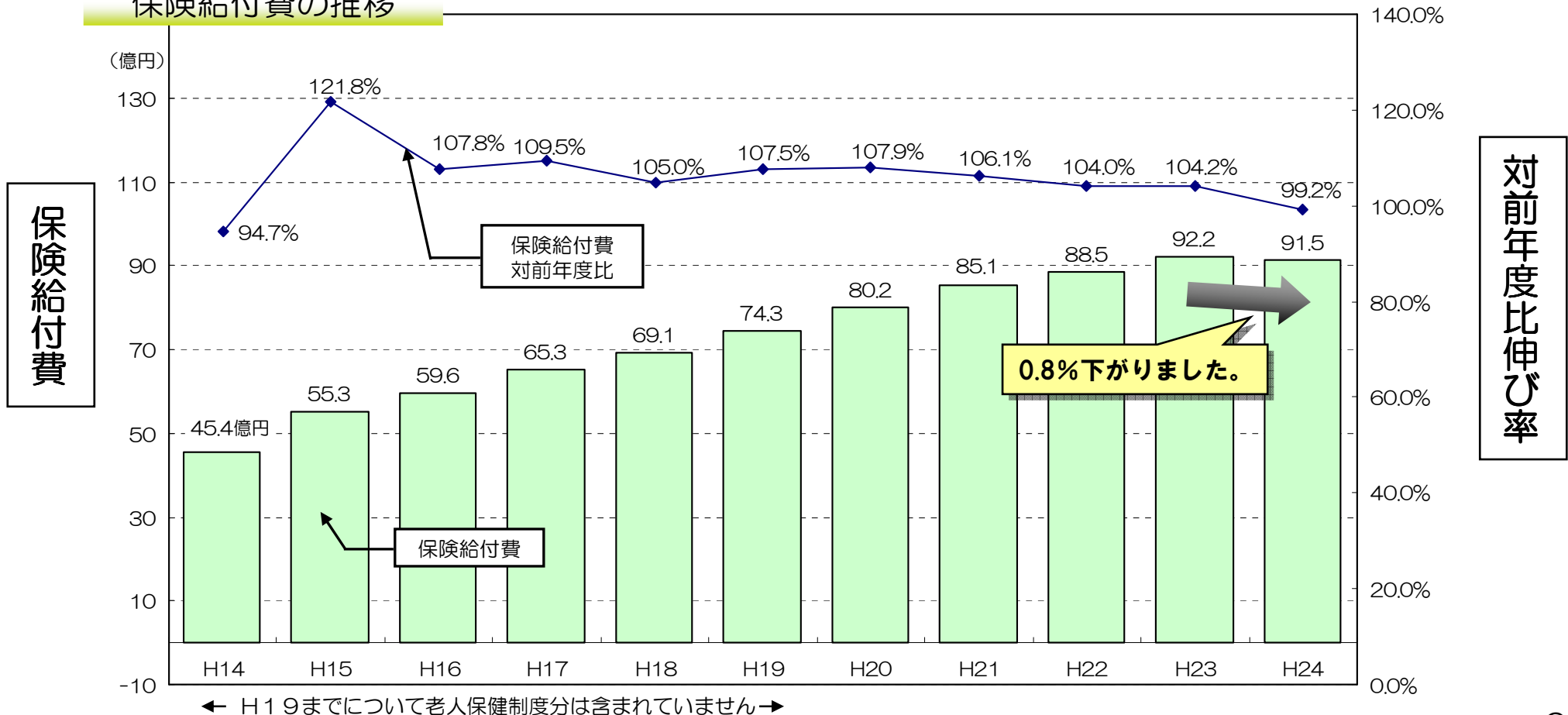


後期高齢者医療制度が創設され、
75歳以上のかたが国保から移行

参考資料② 医療費（保険給付費）の推移

- 平成22年度から平成23年度の保険給付費の伸び率は約4%でほぼ横ばいでしたが、平成24年度の伸び率は平成23年度に比べて0.8%下がりました。特に若年者（64歳以下）の入院・外来者が減少し費用額で約9千万円減少しました。

保険給付費の推移

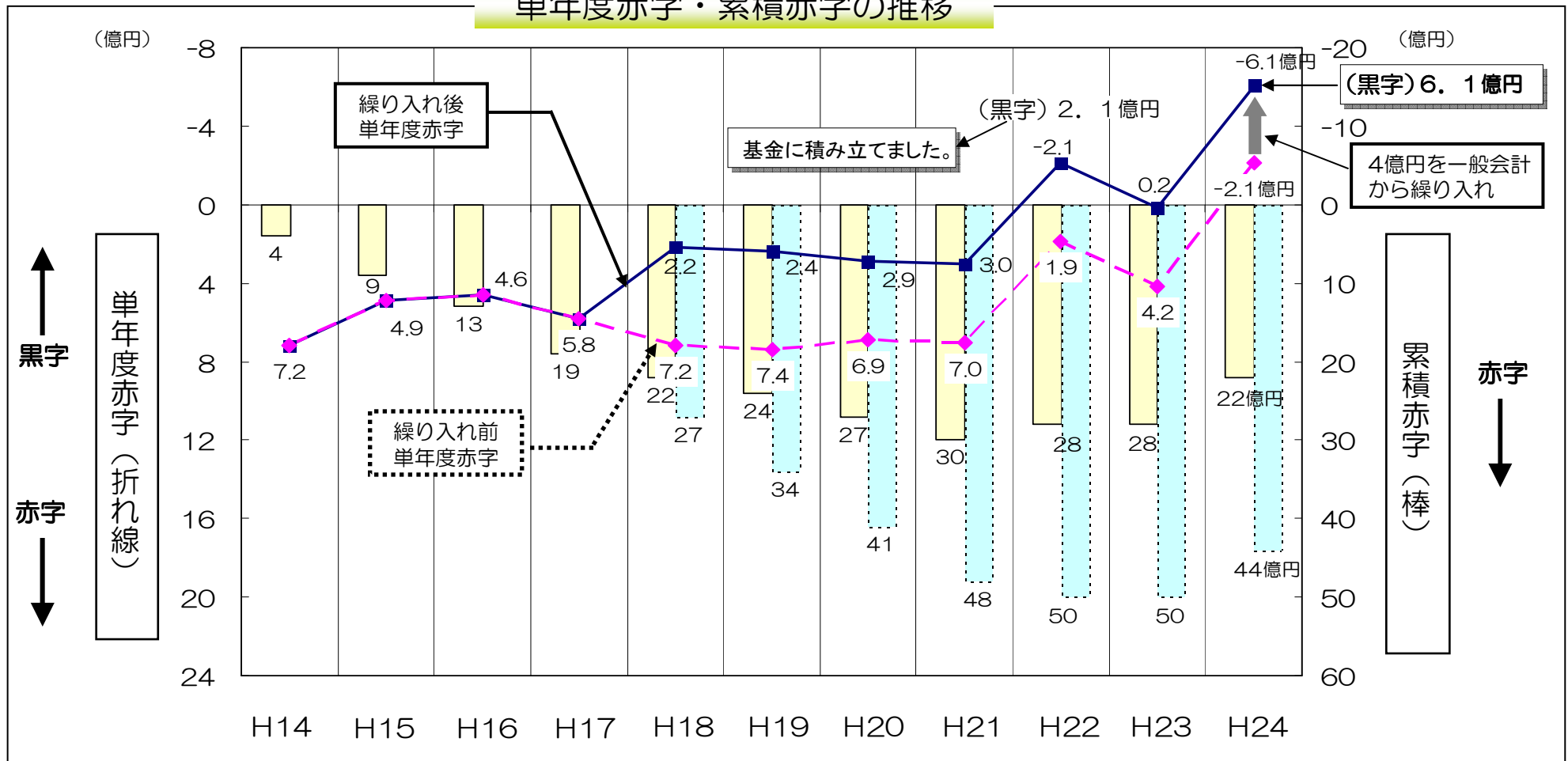


参考資料③ 単年度収支の推移

- ・平成23年度の収支はほぼ均衡でしたが、平成24年度は、約6億6百万円の黒字になりました。
- ・累積赤字は22億円になっている状態です。

一般会計から4億円繰入後

単年度赤字・累積赤字の推移





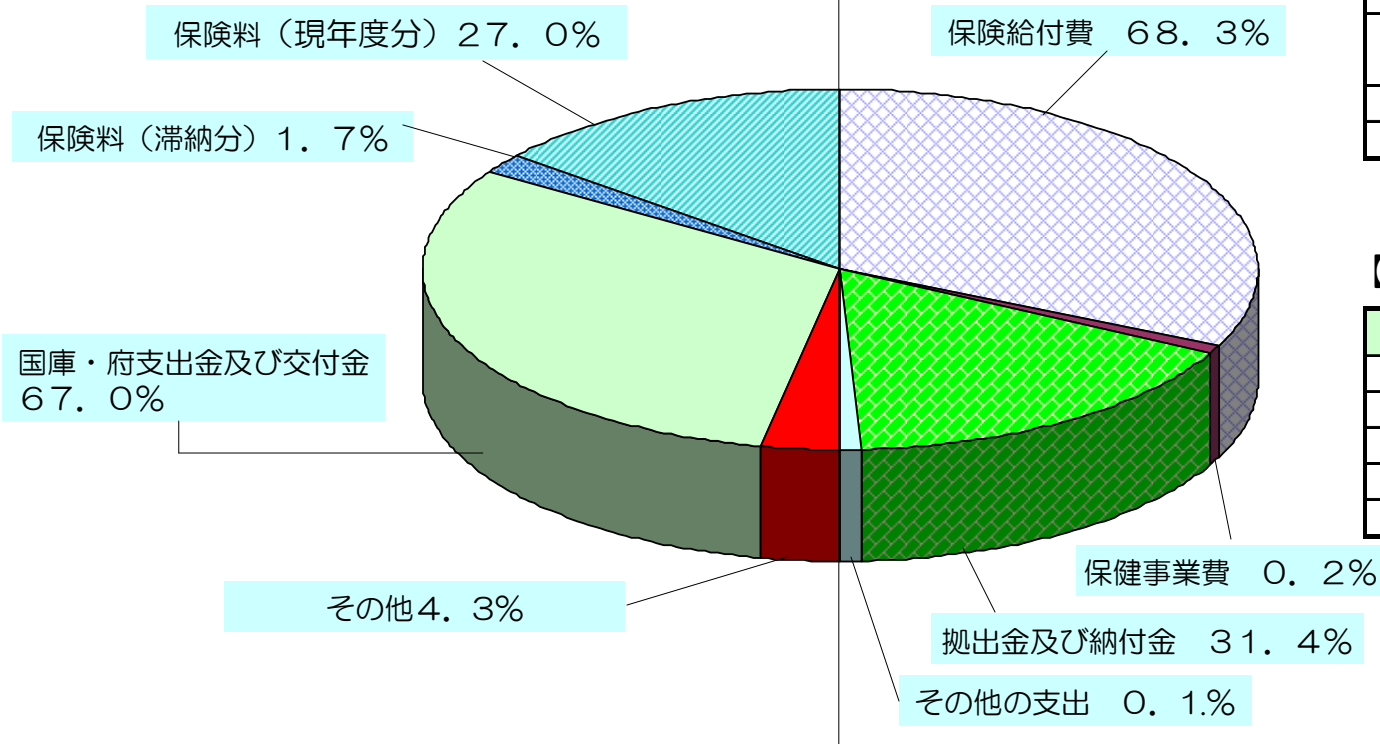
Ⅱ. 平成25年度 国民健康保険料の状況

1. 平成25年度の保険料（決定方法）

- ・平成25年度の保険料は、賦課の負担緩和率を100%、予定収納率を91%で算定しました。
- ・また、保険給付費は、前年度と比較して3ポイント減で算定しました。
- ・その結果、保険料を算出すると、一人当たり保険料は105,102円（1,081円の増額）となります。

本算定時の収支予測

歳入：13,777百万円 歳出：13,777百万円



【歳入】

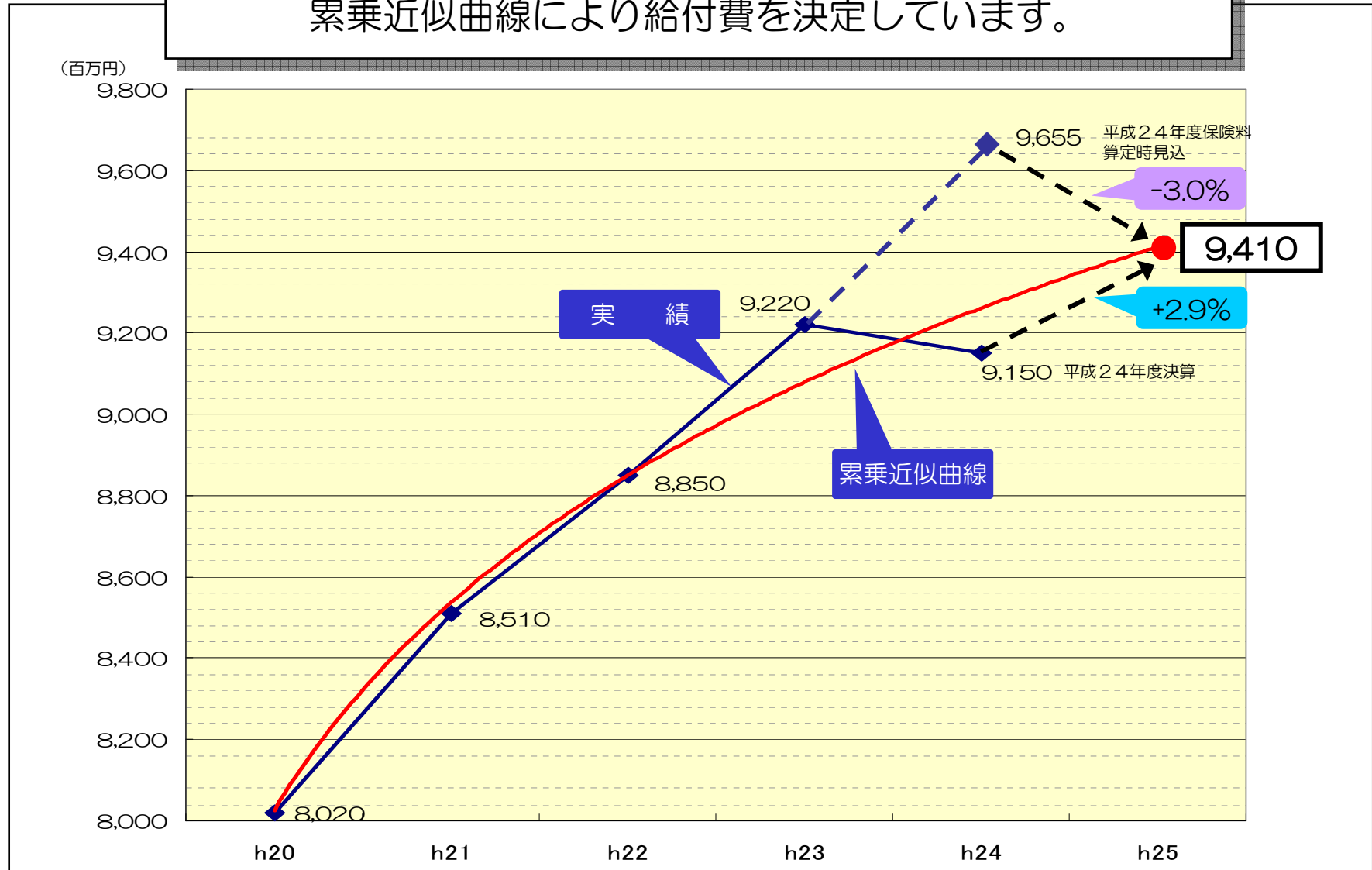
	金額（百万円）
保険料（現年度分）	3,722
保険料（滞納繰越分）	230
国庫・府支出金及び交付金	9,235
その他収入	590
計	13,777

【歳出】

	金額（百万円）
保険給付費	9,410
保健事業費	28
拠出金及び納付金	4,323
その他の支出	16
計	13,777

参考資料 平成25年度の保険料算出の基礎となる給付費の決定方法

累乗近似曲線により給付費を決定しています。



2. 保険料率

- ・ 1人当たり保険料105,102円となるよう、保険料率を算出すると次のようになりました。(平成24年度104,021円)

平成25年度保険料率

		基礎賦課額分	後期高齢者支援金等賦課額	介護納付金賦課額	介護保険該当計	介護保険非該当計
所得割額	所得割算出基礎額に対して	7.17%	3.87%	3.60%	14.64%	11.04%
均等割額	加入者一人につき	37,800円	15,900円	18,900円	72,600円	53,700円
保険料の上限額(賦課限度額)		510,000円	140,000円	120,000円	770,000円	650,000円

<参考>平成24年度保険料率

医療費の伸びの鈍化により、基礎賦課額分は下がりましたが、他の賦課額分は、それぞれ支援金、納付金の増加により上がりました。

		基礎賦課額分	後期高齢者支援金等賦課額	介護納付金賦課額	介護保険該当計	介護保険非該当計
所得割額	所得割算出基礎額に対して	7.30%	2.13%	2.00%	11.43%	9.43%
均等割額	加入者一人につき	42,300円	12,300円	13,200円	67,800円	54,600円
保険料の上限額(賦課限度額)		510,000円	140,000円	120,000円	770,000円	650,000円

3. モデル世帯の保険料の比較

1. 箕面市の平成24・25年度の保険料の比較

・総所得600万円以上の世帯は、差が0か少なくなっています。これは、保険料が限度額に届いているためです。

1人世帯		(年額 円)		
総所得	収入額 (概算)	24年度 (1)	25年度 (2)	差 (2)－(1)
33万円	約98万円	20,340	21,780	1,440
208万円	約323万円	267,825	328,800	60,975
400万円	約567万円	487,281	560,939	73,658
600万円	約800万円	709,281	704,339	4,942
800万円	約1,021万円	770,000	770,000	0
1,000万円	約1,231万円	770,000	770,000	0

4人世帯(世帯主・配偶者・子ども2人)		(年額 円)		
総所得	収入額 (概算)	24年度 (1)	25年度 (2)	差 (2)－(1)
33万円	約98万円	61,974	64,503	2,529
208万円	約323万円	406,605	471,210	64,605
400万円	約567万円	626,061	647,879	21,818
600万円	約800万円	770,000	770,000	0
800万円	約1,021万円	770,000	770,000	0
1,000万円	約1,231万円	770,000	770,000	0

2. 平成25年度保険料の他市との比較

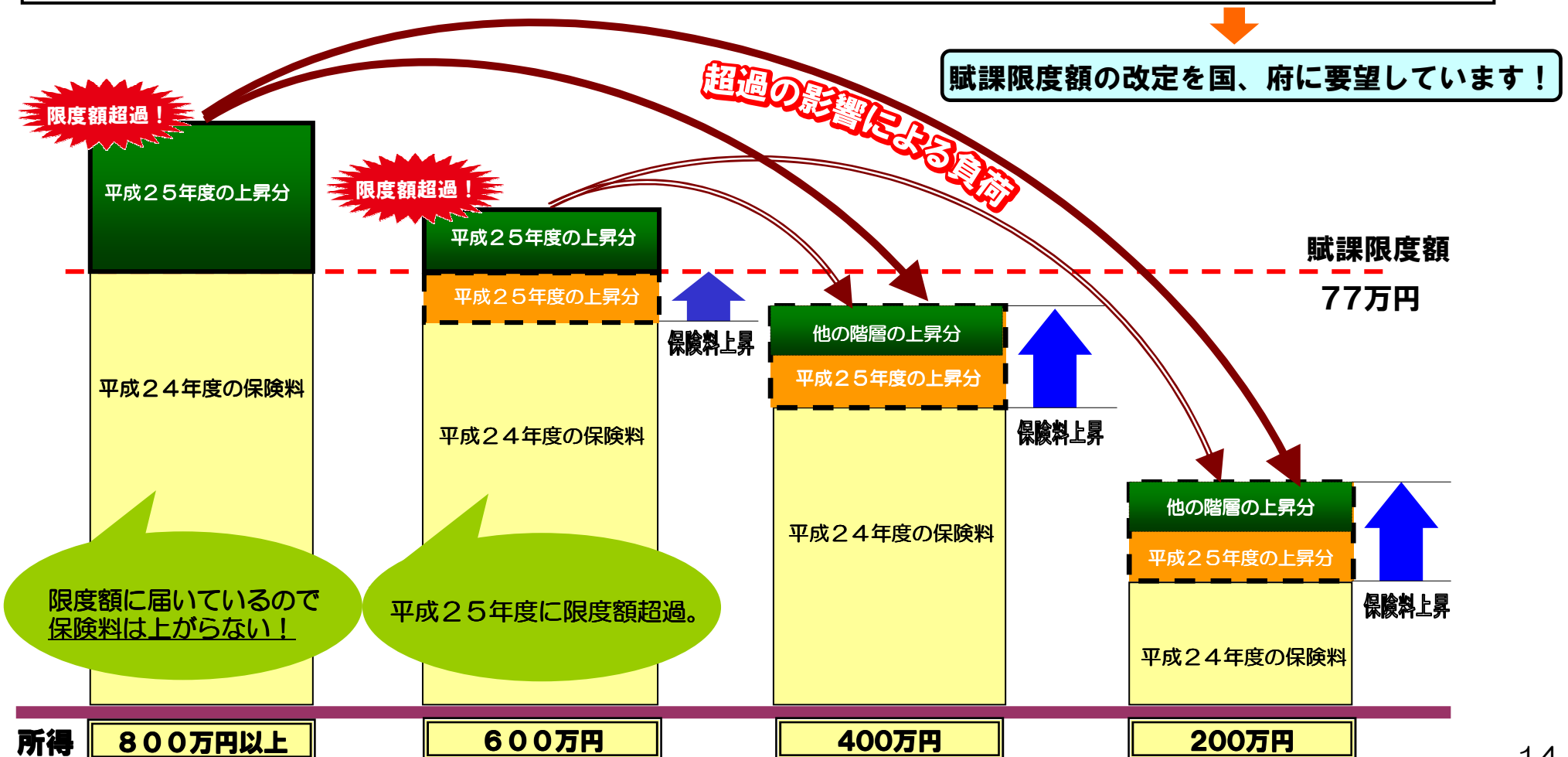
・近隣3市の比較では、3市ともほぼ同様の状況となっています。

1人世帯		(年額 円)		
総所得	収入額 (概算)	箕面市	豊中市	池田市
33万円	約98万円	21,780	22,666	23,751
208万円	約323万円	328,800	285,552	325,745
400万円	約567万円	560,939	515,952	580,360
600万円	約800万円	704,339	752,740	742,331
800万円	約1,021万円	770,000	770,000	770,000
1,000万円	約1,231万円	770,000	770,000	770,000

4人世帯(世帯主・配偶者・子ども2人)		(年額 円)		
総所得	収入額 (概算)	箕面市	豊中市	池田市
33万円	約98万円	64,503	57,917	66,558
208万円	約323万円	471,210	403,055	468,434
400万円	約567万円	647,879	633,455	682,724
600万円	約800万円	770,000	770,000	770,000
800万円	約1,021万円	770,000	770,000	770,000
1,000万円	約1,231万円	770,000	770,000	770,000

4. 賦課限度額について

- 平成25年度は平成24年度に比べて、所得200万円～400万円の階層で、保険料の上がり方が大きくなっています。
- これは、国が2年間限度額改定を見送ったために、600万円以上の階層で保険料の限度額を超えてしまい、その影響が限度額に届いていない中低所得者層の保険料に、さらなる負荷となっているものです。





Ⅲ. 累積赤字解消に向けて

1. 広域化の動向

8月6日 社会保障制度改革国民会議 最終報告書

地域の医療提供体制に係る都道府県の役割強化と

国民健康保険の保険者の都道府県移行

- ①地域の医療提供体制に係る責任を積極的かつ主体的に果たすことができるよう、
都道府県の役割の拡大を具体的に検討する。
- ②国民健康保険の保険者（財政の責任を担う主体）を都道府県としつつ、
運営に関する業務は、都道府県と市町村が適切に役割分担を行い、
保険料収納や医療費適正化のインセンティブを損なわない分権的な仕組みを目指す。
- ③知事会が、「構造的な問題が解決され持続可能な制度が構築されるならば、市町村とともに積極的に責任を担う覚悟」を表明しており、
- ④国民会議としては、時機を逸することなくその道筋をつけることが責務であり、
次期医療計画の策定前に実現すべき。 注）次期計画期間は平成30年から平成34年

2. 累積赤字解消に向けて

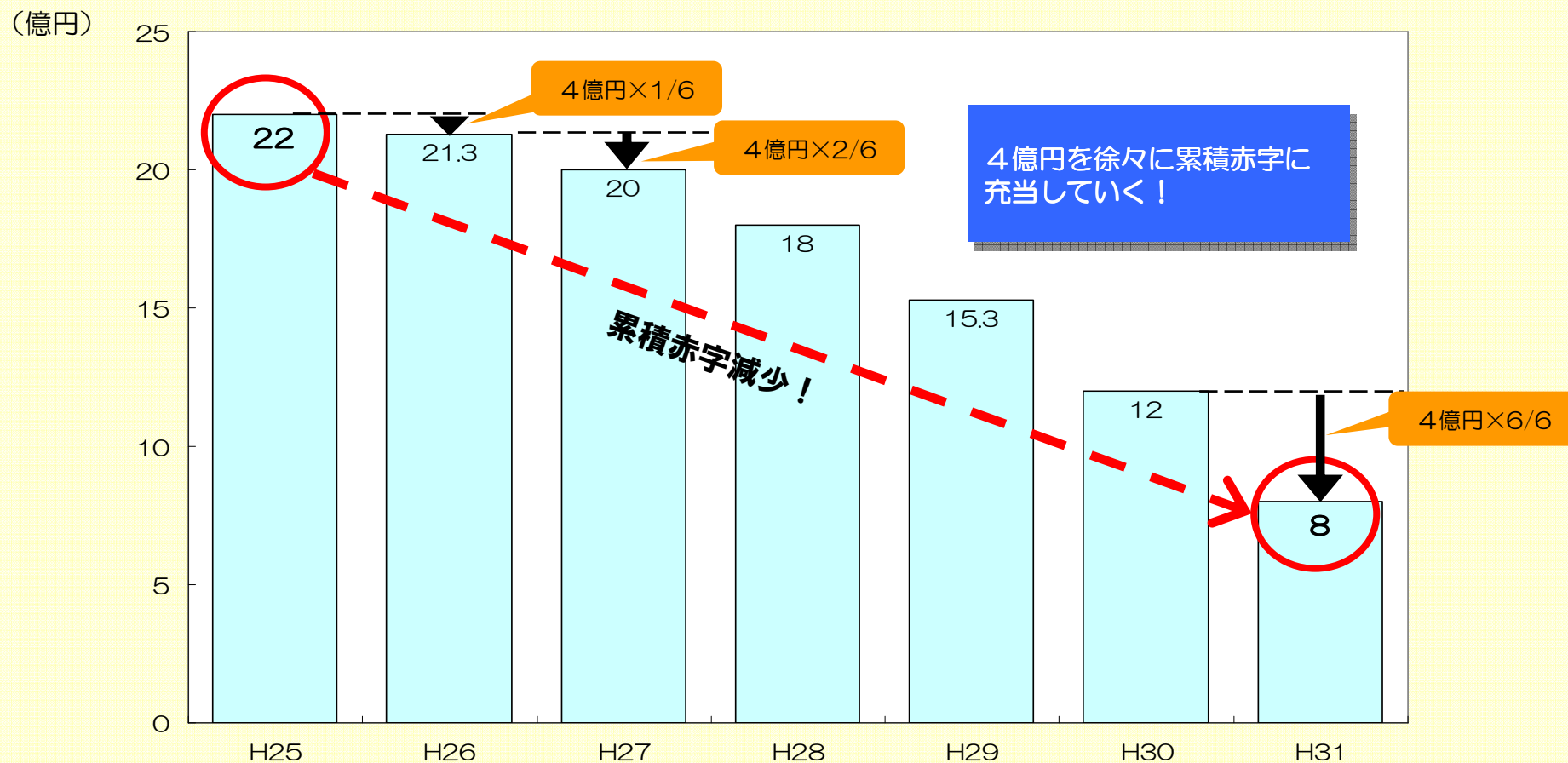
いずれにしても、現に存在している累積赤字解消が課題

- 一般会計または保険料から、
徐々に累積赤字に充当していくことが求められる。

3. 累積赤字と保険料の適正化

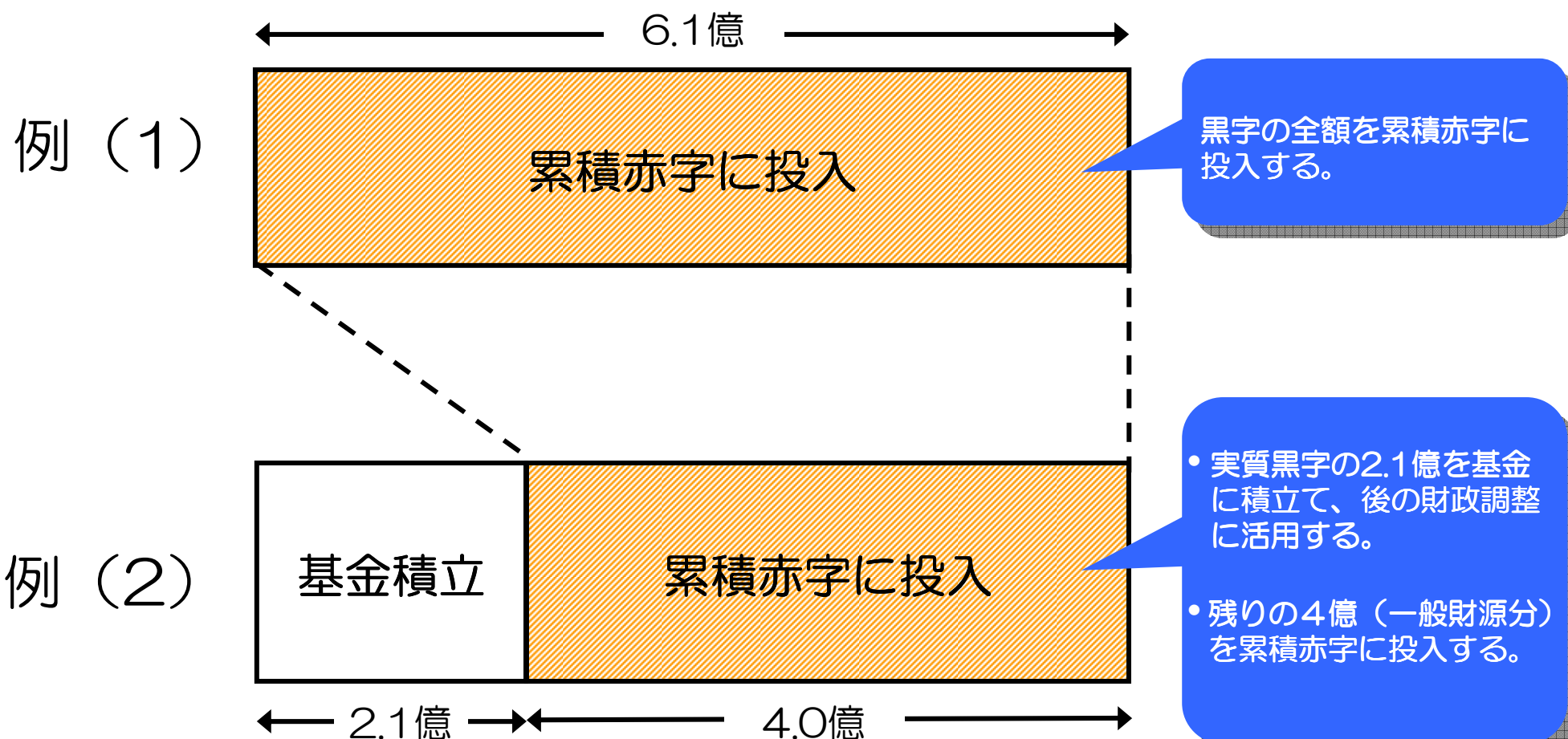
たとえば、一般会計からの累積赤字への投入額を順次増やして行き、6年後に4億円を投入した場合

保険給付費の推移



4. 平成24年度の黒字6.1億について

● 6.1億の黒字をどうするか？



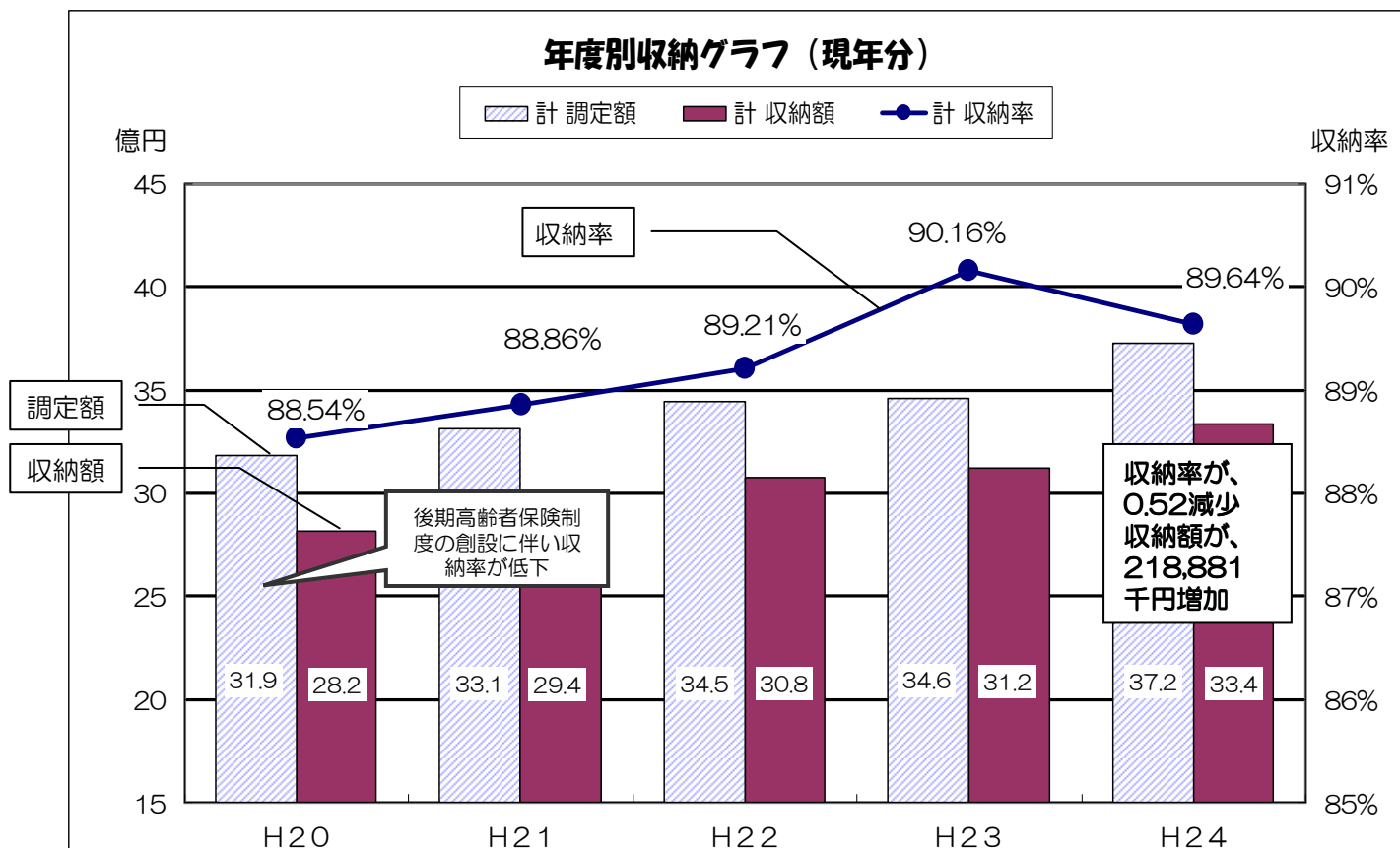


IV. 収納対策

1. 収納状況の推移（現年度分）

- ・ 現年度（平成24年度）収納率は、0.52ポイント減少しました。
- ・ 収納額は、保険料率等の見直しにより、218,881千円の大幅増加となりました。

国民健康保険料年度別収納一覧 <平成20~24年度>

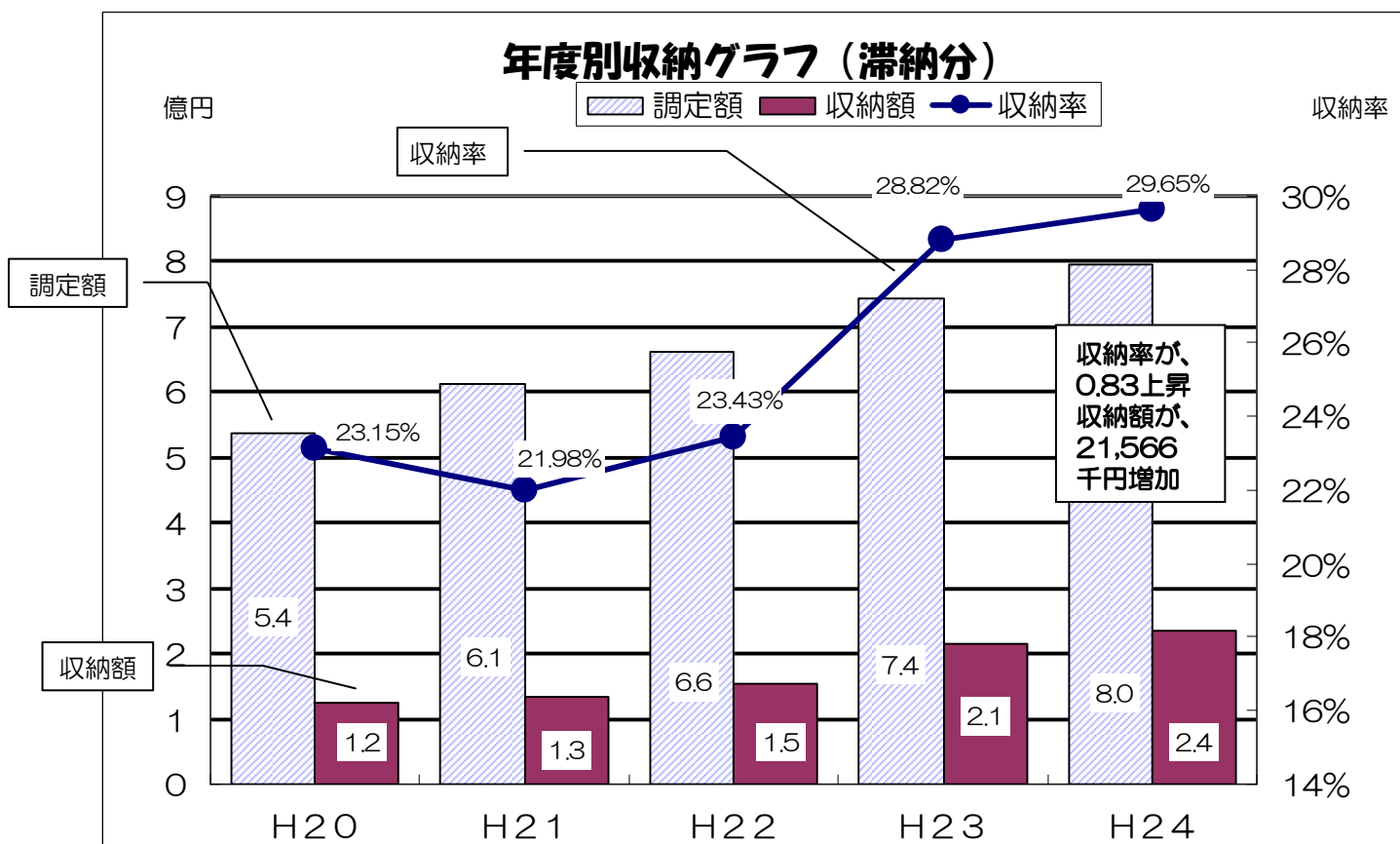


年度	調定額(千円)
	収納額(千円)
	収納率 (%)
H20	3,185,077
	2,820,097
	88.54%
H21	3,311,310
	2,942,329
	88.86%
H22	3,447,158
	3,075,148
	89.21%
H23	3,459,597
	3,119,016
	90.16%
H24	3,723,621
	3,337,897
	89.64%

2.収納状況の推移（過年度分）

- ・ 過年度（平成24年度）収納率は、0.83ポイント上昇しました。
- ・ 収納額は、平成23年度からの事務改善により、21,566千円の増加となりました。

国民健康保険料年度別収納一覧＜平成20～24年度＞



年度	調定額(千円)
	収納額(千円)
	収納率(%)
H20	536,837
	124,254
	23.15%
H21	613,267
	134,789
	21.98%
H22	661,088
	154,904
	23.43%
H23	743,944
	214,376
	28.82%
H24	795,630
	235,942
	29.65%

3.収納率の他市との比較（現年度分）

- ・現年度収納率は、89.64%で0.52ポイント減少し、府内で16番目でした。

平成22年度（表1）

	保険者名	現年度 収納率(%)
1	河内長野市	92.89
2	泉佐野市	91.51
3	高石市	90.78
4	高槻市	90.70
5	羽曳野市	90.67
6	阪南市	90.65
7	泉南市	90.16
8	和泉市	89.90
9	貝塚市	89.06
10	岸和田市	89.01
11	泉大津市	88.88
12	箕面市	88.86
13	堺市	88.65
14	交野市	87.84
15	枚方市	87.66
16	松原市	87.46
17	吹田市	86.82
18	大阪狭山市	86.51
19	茨木市	86.35
20	柏原市	86.20
21	四條畷市	85.72
22	豊中市	85.41
23	池田市	84.86
24	富田林市	84.70
25	摂津市	84.57
26	藤井寺市	84.38
27	大阪市	84.31
28	八尾市	83.73
29	守口市	82.61
30	門真市	81.39
31	大東市	81.24
32	寝屋川市	79.71
33	東大阪市	79.56
	平均	86.75

平成23年度（表2）

	保険者名	現年度 収納率(%)	前年度対比 増減ポイント
1	河内長野市	93.80	0.56
2	泉佐野市	92.30	0.74
3	阪南市	91.84	-1.21
4	高槻市	91.78	0.38
5	和泉市	91.60	1.26
6	泉南市	91.59	1.62
7	堺市	91.20	1.29
8	泉大津市	90.57	0.60
9	貝塚市	90.50	0.84
10	高石市	90.22	0.46
11	交野市	90.19	1.00
12	箕面市	90.16	0.95
13	羽曳野市	89.85	-0.78
14	岸和田市	89.65	-0.10
15	藤井寺市	89.46	2.01
16	柏原市	88.83	1.32
17	枚方市	88.83	0.17
18	四條畷市	88.43	2.41
19	豊中市	88.33	0.39
20	吹田市	87.93	-0.38
21	大阪狭山市	87.82	0.26
22	茨木市	87.80	1.59
23	摂津市	87.62	1.38
24	松原市	87.59	-0.38
25	富田林市	86.22	0.70
26	門真市	86.00	2.53
27	池田市	85.71	0.33
28	大阪市	85.00	0.13
29	八尾市	84.61	0.33
30	大東市	83.49	0.95
31	守口市	82.59	0.45
32	東大阪市	80.39	0.03
33	寝屋川市	79.14	-0.88
	平均	88.21	

平成24年度（表3）

	保険者名	現年度 収納率(%)	前年度対比 増減ポイント
1	河内長野市	93.59	0.21
2	泉佐野市	92.64	0.34
3	和泉市	92.06	0.46
4	高槻市	91.99	0.21
5	堺市	91.95	0.75
6	交野市	91.90	1.71
7	泉南市	91.82	0.23
8	貝塚市	91.30	0.80
9	阪南市	91.12	-0.72
10	泉大津市	90.72	0.15
11	羽曳野市	90.61	0.76
12	高石市	90.28	0.06
13	柏原市	90.14	1.31
14	藤井寺市	89.87	0.23
15	四條畷市	89.74	1.31
16	箕面市	89.64	-0.52
17	豊中市	89.55	1.22
18	摂津市	89.42	1.80
19	岸和田市	89.40	-0.25
20	枚方市	88.92	0.09
21	吹田市	88.63	0.70
22	茨木市	88.59	0.79
23	松原市	88.33	0.74
24	門真市	88.28	2.28
25	大阪狭山市	87.70	-0.12
26	富田林市	87.05	0.83
27	池田市	86.43	0.72
28	八尾市	85.96	1.35
29	大阪市	85.33	0.33
30	大東市	83.85	0.36
31	守口市	82.96	0.37
32	東大阪市	81.47	2.33
33	寝屋川市	81.42	2.28
	平均	88.87	

4.収納率の他市との比較（過年度分）

・過年度収納率は、29.65%で0.83ポイント上昇し、府内で1番目でした。

平成22年度（表1）

	保険者名	滞納繰越
		収納率(%)
1	河内長野市	25.89
2	箕面市	21.98
3	羽曳野市	20.34
4	八尾市	20.18
5	寝屋川市	16.1
6	柏原市	15.29
7	吹田市	15.11
8	茨木市	14.54
9	阪南市	13.14
10	東大阪市	12.81
11	交野市	12.29
12	四條畷市	12.27
13	大阪狭山市	10.72
14	泉大津市	10.58
15	泉南市	10.29
16	和泉市	9.64
17	高槻市	9.45
18	藤井寺市	9.23
19	松原市	9.12
20	摂津市	8.92
21	池田市	8.89
22	豊中市	7.66
23	泉佐野市	7.36
24	富田林市	6.87
25	堺市	6.59
26	大阪市	6.52
27	守口市	6.23
28	門真市	6.12
29	枚方市	6.05
30	岸和田市	5.97
31	貝塚市	5.46
32	大東市	4.83
33	高石市	2.38
	平均	10.87

平成23年度（表2）

	保険者名	滞納繰越	前年度対比
		収納率(%)	増減ポイント
1	箕面市	28.82	5.39
2	河内長野市	23.86	0.08
3	八尾市	18.85	-1.56
4	羽曳野市	18.42	-0.38
5	四條畷市	16.57	1.67
6	豊中市	16.48	3.96
7	阪南市	16.37	3.89
8	泉南市	16.24	3.74
9	池田市	16.09	6.00
10	柏原市	15.83	-0.25
11	吹田市	14.92	0.31
12	和泉市	14.23	2.28
13	泉大津市	14.06	1.99
14	茨木市	13.67	0.57
15	大阪狭山市	13.42	3.23
16	寝屋川市	13.39	0.21
17	大阪市	12.72	3.35
18	東大阪市	12.67	-0.39
19	摂津市	10.09	0.47
20	守口市	10.04	1.08
21	交野市	9.81	-0.76
22	門真市	9.44	1.64
23	高槻市	9.41	0.51
24	堺市	9.09	1.54
25	松原市	9.06	-0.39
26	泉佐野市	8.56	0.35
27	藤井寺市	8.10	-0.35
28	枚方市	7.90	1.06
29	富田林市	7.32	-0.87
30	岸和田市	6.24	-0.03
31	大東市	5.67	0.82
32	貝塚市	5.57	0.02
33	高石市	2.68	-0.01
	平均	12.59	

平成24年度（表3）

	保険者名	滞納繰越	前年度対比
		収納率(%)	増減ポイント
1	箕面市	29.65	0.83
2	河内長野市	23.48	-0.38
3	八尾市	19.05	0.20
4	豊中市	17.87	1.39
31	泉大津市	16.93	2.87
5	茨木市	16.12	2.45
6	和泉市	15.69	1.46
7	阪南市	15.62	-0.75
8	吹田市	15.55	0.63
32	四條畷市	15.13	-1.44
9	羽曳野市	14.37	-4.05
10	寝屋川市	14.08	0.69
11	泉南市	14.05	-2.19
12	柏原市	13.09	-2.74
13	摂津市	12.93	2.84
33	大阪市	12.59	-0.13
14	池田市	12.45	-3.64
15	大阪狭山市	12.00	-1.42
16	門真市	11.80	2.36
17	交野市	11.38	1.57
18	東大阪市	11.28	-1.39
19	藤井寺市	10.90	2.80
20	堺市	10.17	1.08
21	守口市	9.81	-0.23
22	枚方市	9.80	1.90
23	高槻市	9.74	0.33
24	松原市	8.47	-0.59
25	泉佐野市	8.46	-0.10
26	貝塚市	7.13	1.56
27	富田林市	6.98	-0.34
28	岸和田市	6.68	0.44
29	大東市	6.56	0.89
30	高石市	2.69	0.01
	平均	12.80	

5. 滞納処分の状況

- 平成24年度の差押などの滞納処分は、18件で4,052千円でした。

平成23年度 滞納処分内訳

単位：千円

	件数	金額
差押 (預貯金)	7件	2,539
参加差押 (不動産)	2件	50
交付要求 (破産管財人)	9件	575
合計	18件	3,164

平成24年度 滞納処分内訳

単位：千円

	件数	金額
差押 (預貯金)	15件	3,486
参加差押 (不動産)	1件	30
交付要求 (破産管財人)	2件	536
合計	18件	4,052

6. 執行停止の内訳

- 平成24年度の執行停止総件数は75件15,322千円でした。

平成23年度 執行停止内訳

単位：千円

	件数	金額
財産無し	7件	2,355
所在不明	10件	566
生活困窮 (生保受給)	61件	8,071
合計	78件	10,992

平成24年度 執行停止内訳

単位：千円

	件数	金額
財産無し	17件	4,951
所在不明	6件	536
生活困窮 (生保受給)	52件	9,835
合計	75件	15,322



V. 医療費分析

1.新たな医療費分析ツールの活用（KDBシステムの導入）

- ・KDBシステム（国保データベースシステム）を導入し、国保連合会が保有する健診・医療・介護の各種データを結び付け、分析により地域の課題を明らかにし疾病別のデータを作成し、保健指導に役立てていきます。

地域における疾病予防のための取り組み(例)

1 地域の状況を把握

- 特定健診の結果及び疾病別医療費等の分析により、生活習慣病の状況や健康課題を明らかにできる。
- 要介護状態区分と疾病との関係を把握する。

2 重点課題の抽出

- 予防可能な問題となっている疾病を選択

予防対策の疾病を選択

新たな課題の抽出

4 効果を確認

- 疾病別医療費等経年データ分析により保険事業の効果を判定できる

有病者や予備群等の改善の確認

3 重点課題への対策

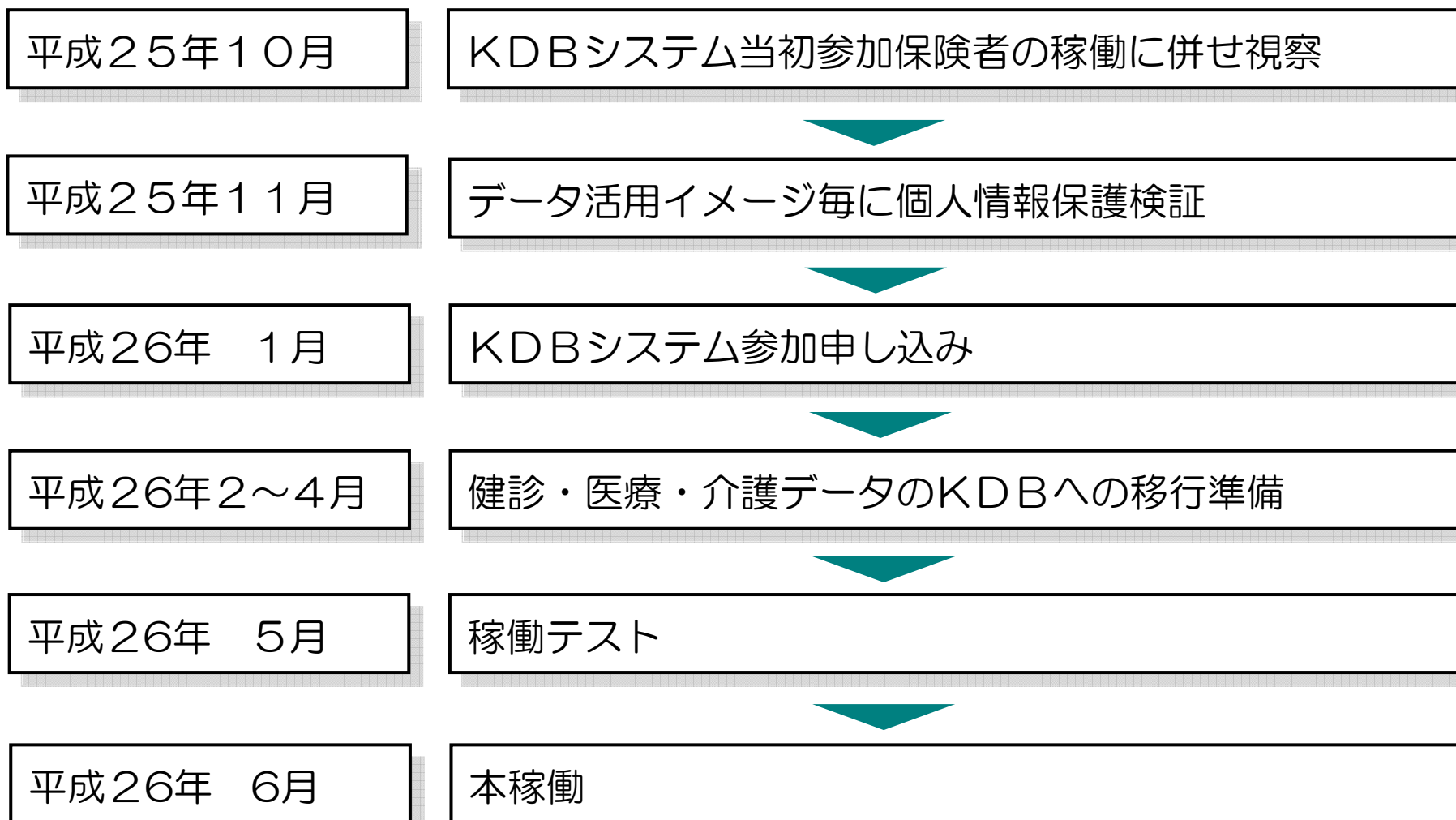
- 選択された疾病への重点的な保健事業の実施

対象者を選択し、保健指導を実施

2. KDBシステムの導入のスケジュール

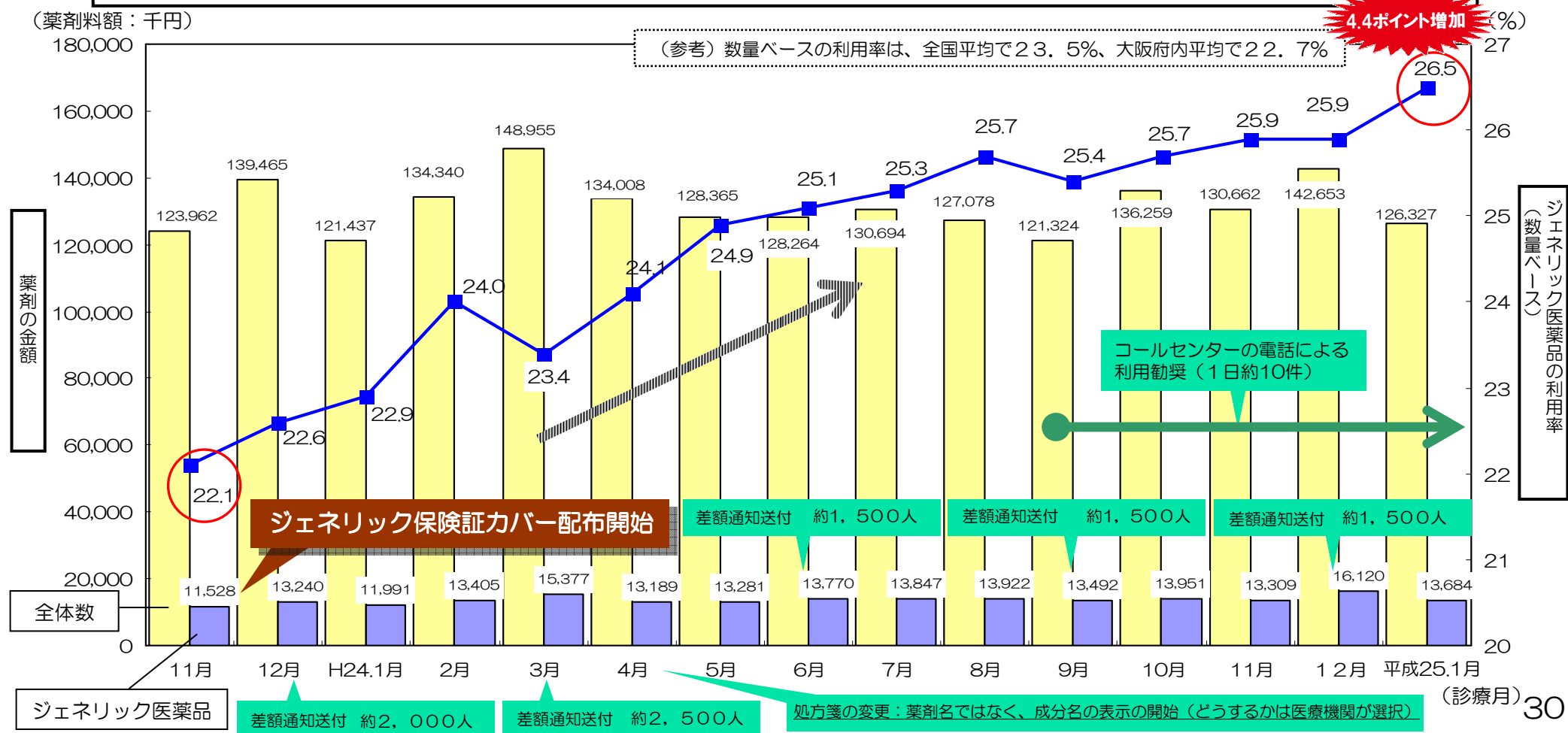
システム導入スケジュール

コスト=このシステムへの追加費用はなし



3. ジェネリック医薬品の推移

- ・平成25年1月診療分において、ジェネリック医薬品の数量ベースの利用率は、26.5%となっています。（全国平均23.5%、大阪府内平均で22.7%）
- ・平成23年11月にジェネリック保険証カバーの配布を開始するなど、ジェネリック医薬品の利用促進の取組をおこなってきってから4.4ポイントの増加となっています。





VI. その他

1.口座振替キャンペーンの実施

国民健康保険を|今すぐ|口座振替に!
ステキな景品が当たる
口座振替キャンペーン

キャンペーン期間
6月1日(土)～7月31日(水)

国連市では、国民健康保険料の口座振替キャンペーンを実施しています。また口座振替にされていない方は、期間中に口座振替を申し込むだけで、抽選でステキな景品が当たります。今すぐ申し込んでください!

対象者

- ★キャンペーン期間中に新しく口座振替を申し込まれた方
- ★すでに口座振替を申し込まれている方
- ★年金からの引き落とし(特別徴収)の方が
※ただし、国民健康保険料の引き落としは別とします。

抽選でステキな景品をプレゼント!
 口座振替のかた、年金引き落としのかたに

10名様 モミジヌメ賞
 會羽山社
 「お母のおまかせ会館」ヘア自筆券

30名様 滝ノ道ゆるする賞
 みのお軽便品セット
 トイザンム、ス、
 魔法のペン、
 魔法のペン、
 魔法のペン

20名様 オレンジゆるする賞
 オレンジゆるするバス
 回数券11枚割り

抽選は9月1日(土)です!
 国民健康保険料を口座振替にする、お支払いのたびに口座振替に自動的にお振り込み、払い戻しがあります。口座振替の申し込みは、国連市役所市民生活課、国民健康保険課または各公民館までお申し込みください。お申し込みは、お電話でも可能です。

国連市役所市民生活課 0724-6734 0724-6040

- ・ 国民健康保険料の納付について、口座振替の原則化（規則制定）に伴い、口座振替推進キャンペーンを実施しました。
- ・ 昨年実績より2.3倍、一昨年より5.2倍の申し込みがありました。

口座振替キャンペーンの概要

- (目的)
- ・ 保険料の安定した収納の確保
 - ・ 被保険者の保険料納付の利便性向上
- (対象)
- ・ 7月31日までに口座振替申し込みをされているかた
- (景品)
- ・ 左記チラシのとおり160名に当たる
- (抽選)
- ・ 9月初旬に行い、景品を発送します

2.保険証のカード化の実施

- ・現在、保険証は世帯ごとになっています、これを平成25年11月から 1人1枚の個人カードにします。
- ・これにより、保険証がキャッシュカードサイズになり、家族全員がそれぞれ自分の保険証を持つことができ、同時に違う医療機関にも受診できるようになります。
- ・素材は、コーティング紙を使っています。

(表)

国民健康保険 被保険者証

有効期限
交付年月日

記号 国 番号
氏 名

生年月日
世帯主氏名

住 所

資格取得年月日

給付開始日

保険者番号 [2:7:0:2:1:5] 保険者名 箕面市

背景に『滝ノ道ゆずる』を表示しています。

(裏)

『ジェネリック医薬品』を希望します

※以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思表示を行うことができます。
記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
3. 私は、臓器を提供しません。

〈1又は2を選択したかたで、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。〉
【 心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・^{じん}睪丸・^{すい}臓・小腸・眼球 】

(特記欄：)

署名年月日： 年 月 日

本人署名(自筆)： 家族署名(自筆)：

医師か、病院などの受付や薬剤師に保険証を見せるだけでジェネリック医薬品を希望したことになります。